

平成21年度訪日外国人宿泊者数(延べ数)の状況について

北海道胆振総合振興局

平成22年6月

1. 概要

平成21年度の訪日外国人宿泊者数(延べ数)は391,805人で、前年度比92.0%と33,893人減少しましたが、ビジット・ジャパン・キャンペーンが開始された平成15年度比では198.8%と194,769人の増加となっております。

上期は、平成20年度から続く世界金融危機による景気後退に加え、新型インフルエンザや急激な円高などの影響により外国人宿泊客は減少しました。一方、下期は平成21年7月の中国人富裕層への訪日観光ビザの解禁などによる中国人宿泊客の大幅な増加によって、外国人宿泊客は増加しました。

しかし、上期の客数減少の影響が大きく、下期の客数の増加を打ち消したため、平成21年度全体として見ると、訪日外国人宿泊者数(延べ数)は前年度対比で約8%減少しています。

※参考 ～外国人宿泊者数(延べ数) 平成20年度：425,698人 平成15年度：196,036人

※ビジット・ジャパン・キャンペーン

～2010年に訪日外国人旅行者数1,000万人を目標に日本観光の魅力を海外に発信・日本への魅力的な旅行商品の造成等を行う事業で、国土交通省が中心となって官民一体で取り組んでいる。

2. 圏域・国別の概況

【アジア圏】

○アジア全体では、384,086人で前年度比93.7%と25,727人減少しましたが、平成15年度との比較では204.2%と195,977人増加しています。

○胆振管内に宿泊した98.0%の外国人がアジア圏の旅行者となっています。

○さらに、次の4カ国で全体の88.8%と当地域の外国人宿泊客の約9割を占めています。

- ・台湾：149,468人で全体の38.2%、前年度比76.8%と45,060人減少しました。
- ・韓国：83,618人で全体の21.3%、前年度比99.2%と644人減少しました。
- ・中国：67,690人で全体の17.3%、前年度比238.6%と39,326人増加しました。
- ・香港：46,920人で全体の12.0%、前年度比85.6%と7,914人減少しました。

【その他の地域(欧米など)】

○ヨーロッパ地域が3,255人(全体の0.84%)で、前年比66.0%と1,678人の減少、北米地域が3,242人(全体の0.83%)で、前年比37.4%と5,433人の減少となっています。